科目名	日本語理解Ａ（国語総合）　　Japanese A: Japanese in General						
科目担当者	堀下 翔　　HORISHITA Kakeru						
単位数	2	**配当年次**	1 年	**授業形態**	講義	**開講学期**	前期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　総合講座］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　総合講座］					**ディプロマポリシーとの関連**	(1)(4)
授業の概要	子供の頃から日本語を使っている人ならば誰でも日本語を使いこなせるでしょうか。もしそうなら、みなさんは「国語」のテストで毎回満点を取ってきたことになりますが、そうではないはずです。この授業では、獲得すべき〈スキル〉として日本語を捉え、社会的なコミュニケーションに必要な日本語のスキルの獲得を目指して、基礎から取り組みます。大学卒業後の仕事で活きるスキル、大学の授業で求められるレポート執筆のスキル等、〈実用〉的な能力をまずは意識します。講義を通して、受講生自身が「書く」練習の機会をたくさん用意します。						
授業の到達目標	①　メール・電話・手紙を通じたコミュニケーションに必須の規範を身につけ、的確に実践できる。 ②　社会で共有されている基礎的な日本語の知識を充分に身につける。 ③　適切な情報を集め、読み取り、整理した上で、高度な論理的文章を執筆できる。						

授業計画・内容	1	オリエンテーション―「日本語」はスキルであるということ
	2	メール―①基礎的な規範
	3	メール―②場面ごとの応用
	4	手紙・電話
	5	主語・述語―①自分が書いた「文」を見直す
	6	主語・述語―②ねじれのない「文」を身につける
	7	慣用句
	8	敬語―①敬語についての基本的な考え方
	9	敬語―②誤った敬語に気づく方法
	10	敬語―③演習問題を協力して解こう
	11	小テスト
	12	論理的文章の執筆―①主観と客観
	13	論理的文章の執筆―②注の付け方
	14	論理的文章の執筆―③段落構成
	15	論理的文章の執筆―④推敲

授業外学修 (事前学修)	・授業計画の内容に即して予備調査をしておく（毎週 1 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	・授業外で日常的に文章を書く（毎週 2 時間程度） ・小テスト（第 12 回）のために準備を行う（5 時間程度） ・期末レポートを執筆する（10 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	・授業外課題 ・小テスト ・期末レポート	40% 30% 30%	② ①、② ③

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合、課題点数が 10 点に満たない場合（40 点満点）
教科書	特に指定しない。適宜プリント等を配布する。
参考文献	石塚修［ほか］『日本語表現＆コミュニケーション 改訂版』（実教出版、2022 年）
その他	